

ひろせ さいへい 広瀬 宰平 (1828~1914)



住友家初代総理事。近江国野洲郡八夫村(現、滋賀県野洲市)出身。11歳で別子銅山勘場に勤務し、安政2(1855)年、住友家当主の推挙により元住友浅草出店支配人・広瀬義泰の養子となった。慶応元(1865)年、別子銅山の支配人となり幕末から明治維新の動乱期に住友家の事業を存亡の危機から救うため尽力し、特に土佐藩により銅山が差し押さえられそうになった際、その阻止に奔走した。

明治維新後は、フランス人技師のコワニーやラロックらを別子に招いて鉱山経営の近代化に努め、また、ラロックの提案に基づく近代化の方針を打ち出して東延斜坑の開鑿、新製錬所の建設、専用鉄道の敷設など別子銅山が日本有数の銅山となる基礎を築き、住友財閥発展の基礎を固め、筆頭番頭として活躍した。また、大阪株式取引所や大阪商法会議所の設立に尽力する

など、大阪財界のリーダーとしても重きをなした。

略歴

文政11(1828)年5月5日	近江国野洲郡八夫村に生まれる。
天保9(1838)年	別子銅山に入山し、勘場勤務となる。
安政2(1855)年	元住友浅草出店支配人・広瀬義泰の養子となる。
慶応元(1865)年	別子銅山の支配人となる。
明治7(1874)年	別子銅山の近代化のため、フランス人技師・ラロックらを雇用
明治10(1877)年	住友家初代総代理人(後、総理事)となる。
明治11(1878)年	五代友厚らと大阪株式取引所を設立
明治16(1883)年	惣開に洋式製錬所を建設
明治19(1886)年	第一通洞(トンネル)を完成させる。
明治26(1893)年	日本で最初の鉱山鉄道である上部鉄道と下部鉄道を敷設
明治27(1894)年	住友家総理事を引退し、新居郡中萩村(現、新居浜市)に隠居
明治28(1895)年	旧別子に日本最初の東延斜坑が完成
大正3(1914)年1月31日	87歳で永眠

(写真提供：広瀬歴史記念館)

〈関連図書〉

- ・広瀬宰平『半世物語』 1895年
- ・広瀬満正『宰平遺蹟』 中萩原村 1926年
- ・咲村観『住友の元勲』 講談社 1984年
- ・藤本鐵雄『「明治期」の別子 そして住友』 御茶の水書房 1995年
- ・広瀬記念博物館『新居浜市広瀬歴史記念館』 広瀬歴史記念館 1997年
- ・旧広瀬邸文化財調査委員会『別子銅山の近代化を見守った広瀬邸－旧広瀬邸建造物調査報告書－』 新居浜市教育委員会 2002年
- ・佐藤雅美『幕末「住友」参謀 広瀬宰平』 学陽書房 2003年
- ・新居浜市『別子銅山と近代産業遺産－未来への鉱脈－』 新居浜市 2005年

〈主な収蔵資料〉…(P203, 42)

〈ゆかりのある場所〉…(P279, 63)

〈関連施設〉…別子銅山記念館

〒792-0844 愛媛県新居浜市角野新田町3丁目13番 TEL: 0897-41-2200

広瀬歴史記念館

〒792-0046 愛媛県新居浜市上原2丁目10番42号 TEL: 0897-40-6333

住友史料館

〒606-8431 京都府京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町1-2 TEL: 057-761-7503